

医療・保健・福祉・市民の情報交流の場
大村市在宅ケアセミナーだより

第99号 平成23年11月

発行元：〒856-0820 長崎県大村市協和町779

(社)大村市医師会 大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL:0957-54-0151

ホームページ：<http://www.nagasaki.med.or.jp/oomura/caresemi/index.html>

大村市在宅ケアセミナー20周年記念特別講演会

「支える側が支えられるとき
～認知症の母が教えてくれたこと～」

＜講師＞詩人・児童文学作家。日本児童文学者協会会員
藤川 幸之助 先生

平成23年11月17日(木)
18:30開場 19:00開演
会 場:シーハットおおむら さくらホール
入 場:無料

手話通訳
あります

平成23年度長崎県介護予防推進フォーラム県民大会

「はじめよう！ひろげよう！みんなとともに介護予防」

平成23年12月18日(日) 10:20～15:10(受付 9:50)

会 場:大村市民会館

対 象:どなたでも参加できます(参加無料)

基調講演 10:30～11:30

「はじめよう！ひろげよう！みんなとともに介護予防」

講 師:長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻
准教授 井口 茂 氏



長崎県介護予防シンボルマーク

第115回 大村市在宅ケアセミナーの報告

日時* 第3木曜日 9月15日(木)18:45~

場所* 大村市民会館 3階大会議室

司会* 楠本 道子 氏

内容* 「高齢者の終末期~どうやって、生きる事を支えるか~」
うぐいすの丘 副施設長 柿田京子 氏

大村市医師会在宅介護支援部 部長 酒井眞弥子 氏

参加人数* 112名(会員110名+会員外2名) 新規入会33名

《感想など》

* 在宅ドクターを探す場合は、大村在宅ドクターネットの利用とありましたが、具体的な電話番号など知りたい。最後の意見交換で、いろいろな施設や病院等のターミナルに対する考えがそれぞれあって、皆、手さぐりの中、日々考えながらやっている事を知り、頑張っていけそうな気がしました。

* 命の尊厳を大切にされて最後を迎えられる、そのためにご苦労されていることを知りました。ホッと安心したような気分です。

* グループホーム勤務です。今まで数名のターミナルケアをしました。どの方も、お一人お一人違うターミナルでした。何回経験しても不安と恐ろしさは変わりません。いくら勉強しても人が違えばケアも変わっていきます。そこに“気持ち、心”を持たせたケアを提供していくことが、私達の役割だと思っています。勉強になりました。

* 今回初めて参加しました。終末期の対応というのは難しい問題で、色々なお話を聞けとても勉強になりました。自分がそのようなケースに当たった時に、活かしていきたいです。

* 病院に入院しているが、点滴で手足がパンパン、褥瘡が背中いっぱいあり、かわいそう。それでも生かしていなければいけないのか。吸引も気休めなのか、柿田先生の言葉、心にしみました。心あるお見送りを心がけております。勉強になりました。ありがとうございます。

など、多くの感想を頂きました。

※ 当日の配布資料の一部は、講師の了解を頂き、在宅ケアセミナーホームページに掲載しています。

「大村在宅ドクターネット」

特徴 ①連携医と協力医がチームとなってサポートします

②複数主治医制

③24時間365日対応

対象 ①病院の退院時に在宅主治医が決まらない

(かかりつけ医を持っていない、あるいは元のかかりつけ医が辞退)

②主治医はいるが、副主治医を希望

③その他在宅医療における担当医が見つからないとき

在宅主治医に関するご相談は大村市医師会地域医療連携室(電話54-0151)もしくは国立病院長崎医療センターや市立大村市民病院の連携室で受け付けております。